



森幸安 (1701 - ca.1780) 『日本志』他レイヤリング

地図とはなんだろうか。 カルトグラフィーの歴史と 測地系の成立

建築博物教室 第19回 公開ギャラリーセミナー

大地のアーキテクチャ

森 洋久 (東京大学総合研究博物館 准教授/情報工学)

日時：2019年7月6日(土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料 (事前申込不要)

大地のアーキテクチャ

森 洋久



(上) クラウディオス・プトレマイオス (ca.83 - 168)
『地理学』レイヤリング
(左) 長久保玄珠 (1717 - 1801)
『日本輿地路程全圖：新刻』
(国際日本文化研究センター所蔵)

地図とは、自分の住む世界の世界観を見えるようにしたものである。そう考えると、google マップや、道路地図ばかりが地図ではない。紀元前から世界中に様々の世界観の地図を描いたカルトグラファー（地図製作者）たちがいた。科学技術黎明期になると、宇宙からの地球の眺めへの挑戦が始まる。測地系という概念が生まれ、大航海時代を経て、現代的な地図や測量の概念へと繋がって行く。カルトグラフィーの歴史を紐解くことで地図の多様性に触れる。



森 洋久 (もり ひろひさ)

1994 年 東京大学 大学院理学系研究科 情報科学専攻 博士課程退学。同大学 総合研究博物館 助手、大阪市立大学 文学研究科 准教授、国際日本文化研究センター 准教授を経て、2017 年現職。情報科学、現地理情報学、および、科学哲学を専攻する。1999 年より、ひとりひとりの身の回りの地図を一つにつなげてき、やがては地球を作ろうという GLOBALBASE プロジェクトを展開している。



ジャン＝ドミニク・カシーニ (1748 - 1845)
『フランス全図』測量網図

東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間：10:00-16:30 (入館 16:00 まで)
入館料： 無料
休館日： 月・火・水曜日
(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、その他博物館が定める日

アクセス：地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分
<http://www.um.utokyo.ac.jp/architectonica/index.html>

建築博物教室とは？
「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ
KOISHIKAWA Annex.
UMUT
東京大学総合研究博物館小石川分館